

つくば路の 失われんとて 訪ね来し  
沢さわ澄みて 今をこそ惜しむ

小筑波の 山ふところの 沢のけふ  
こがに追いつつ 群あそぶ子ら

ふさざくら 実朱けに垂りて その蔭に  
午餉をとれば 揚羽まひ来る

めづらしき 玉の蕾の 紫陽花の  
隠れさわ上に 咲き誇りつつ

幼稚園のお子から、古稀に近い方まで、幅広い一行で  
したが、炎天下を一人の落伍者もなく行楽出来ましたの  
も、豊かな自然の恩恵でしやうか。

都市は益々過密化し、緑地帯が失われる時に、小規模  
ながら、充分一日を楽しめる、このような山の道が、産  
業道路、観光路線となり、数分で通過し去るようなこと  
となり、又緑地が荒らされて、何の利点があるのでし  
う。

ほんとうに惜しい事です。

加害者 被害者 みな他人

横 手 文 雄

遠い九州の地、水俣に発生した公害病が、人事のよう  
に思えてから、幾年も経ないうちに青森の果てまで拡が  
り、厚生省が、魚の安全基準を発表するやら、県が安全  
宣言をするやら、日本中が今にも絶滅の危機を迎えたよ  
うに、大騒ぎをした記憶が生々しい。

実害をピンと肌を感じない公害は、水俣病が他人事に  
思われたように、人の噂は何とやらではないが、不感症  
になりつつある今日である。

我国は、資源が少ないために、一億の糊口をしのぐに  
は、加工輸出に頼らざるを得ないから公害も止むを得な  
いなどと言う理論は、浅学の身では計り知れないので、  
専門家におまかせするとして、不特定多数の：；が何々  
してなどといわれる化学公害の外に、日常身の周りで良  
く見聞きする、公害について、様々な出来事を中心に、  
一緒に考えてみたいと思う。

そ の 一

某団地に居住の知人を訪問したところ、飯面ライダ  
ーの袋に入ったえびせんが、山盛りになっている。子供が